

名古屋経済大学 自然科学研究会会誌

〔第51巻 第1号〕

論 説

ミラーニューロン概念に基づく栄養指導教育の研修方法開発への提案
..... 山 岡 由理子 1
岸 上 明 生

東海地方の希少種マメナシ (*Pyrus calleryana* Decne.) の
保全における注意点
..... 郡 麻 里 17

名 古 屋 経 済 大 学

2024年3月

自然科学研究会会則

[1996年5月17日改正]

(名称)

第1条 本会は名古屋経済大学自然科学研究会と称する。

(目的)

第2条 本会は、自然科学の研究ならびに普及を目的とする。

(事務所)

第3条 本会の事務所は、名古屋経済大学学術研究センター（以下「センター」という）内に置く。

(事業)

第4条 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 研究会および講演会の開催
- 2 機関誌「自然科学研究会会誌」の発行
- 3 その他目的達成に必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

- 1 正会員
名古屋経済大学の専任教員であって入会した者
- 2 学生会員
名古屋経済大学の学生
- 3 準会員
評議員会において入会を認められた者
- 4 名誉会員
この会に正会員として所属し、この会の発展に特に顕著な功績のあった者で評議員会の承認を得た者

(会費)

第6条 本会の会員は、会費をセンターに納めなければならない。ただし、名誉会員は、この限りではない。

(2) 会費は、センター規程の定めるところによる。

(評議員会)

第7条 本会に評議員会を置き、本会の正会員をもって評議員とする。

(2) 評議員会は、会長が召集し、年1回以上開催する。

(3) 評議員会は、評議員の過半数により成立し、議決は、出場者の過半数による。

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 運営委員 1名
- 3 編集委員 若干名
- 4 庶務会計 若干名
- 5 その他評議員会において必要と認められた委員

(2) 役員は、評議員会において互選し、その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

(3) 役員は、役員会を構成し、会務を執行する。

(4) 編集委員は、編集委員会を構成し、会誌の編集、発行を執行する。

(経費)

第9条 本会の経費は、センターからの交付金その他をもってあてる。

(事業年度)

第10条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(改正)

第11条 本会則の改正は、評議員の3分の2以上の出席する評議員会の過半数の議決によって行い、センターの承認を得るものとする。

投稿規定

I. 編集

- 1) 本誌の投稿者は、原則として本研究会会員（正会員・準会員・名誉会員）に限る。ただし、会員以外の共同研究者を含むことはさしつかえない。
- 2) 本誌は、自然科学（生活科学・健康科学等を含む）に関する論文・研究ノート・資料・総説・ミニレビュー・科学エッセイ・教育実践記録・他誌に掲載された会員の論文抄録・学会見聞記・その他で構成する。
- 3) 和文で書かれた原稿には、英文の Abstract（200words 以内）を付ける。
- 4) 原稿の長さは制限しないが、特に長い場合は検討を求めることがある。
- 5) 原稿は、正原稿 1 部とコピー 1 部を提出する。なお、ワープロ等で原稿を作成した場合は、原稿の入ったフロッピーを同時に提出することが望ましい。原稿の提出先は編集委員会とし、その提出日をもって受理の日付けとする。
- 6) 編集委員会は、著者に内容・語句等について訂正を求めることがある。
- 7) 掲載文の別刷を希望する者には、50 部まで無料とし、これを超過する分に対しては実費を徴収する。

II. 原稿の書き方

- 1) 原稿には、表題および著者名を明記する。和文原稿には英文の表題・著者名を付記する。著者が複数で、所属機関が異なる場合は著者名末尾に上付数字を付けて区別し、脚注に記入する。
- 2) 論文は原則として次の順序で記載する。
 - 英文の Abstract
 - 緒言（緒論、序論、まえがき）
 - 研究方法（実験方法、解析方法、観察方法、調査方法）
 - 研究結果（実験結果、観察結果、調査結果）
 - 考察
 - 謝辞
 - 文献
 - 表
 - 図説明
 - 図
- 3) 文献は、本文中の該当人名あるいは事項の右肩に番号を付し、本文末尾の文献の項に一括記載する。
 - a) 雑誌
 - 著者名：表題、雑誌名、巻、ページ（発行年）
 - 例
 - 坂本幸司・中西幸雄：たばこ刻みの微細構造と吸着水の存在形態。日本農芸化学会誌，69，1317-1321（1995）
 - Ishaque, M. and Kluepfel, D.: Cellulose complex of a mesophilic *Streptomyses* strain. Can. J. Microbiol., 26, 183-189（1979）
 - b) 書籍
 - 著者名：表題、「書名」、発行社、引用ページ（発行年）
 - 例
 - 吉田 昭：これからの食生活と栄養。「バイオテクノロジーと食料革命」（松尾幹之・鶴高重三 編），名古屋大学出版会，165-202（1986）
 - 江上不二夫：「生命を探る」，岩波新書，15-24（1980）
 - Pegg, G. F.: Chitinase from Tomato *Lycopersicon esculentum*. Methods in Enzymology Vol. 71（Wood, W. A. and Kellogg, S. T., eds), Academic Press, New York, 484-489（1988）
- 4) 図表挿入位置は、原稿右側の余白に赤字で指示する。
- 5) 表は 1 表 1 葉とし、本文原稿のあとにまとめて付ける。表題と内容説明は表の上を書く。表の注等は表の下に書く。
- 6) 図と写真は区別せずに図として一連番号を付け、1 図 1 葉に示す。図・写真の表題は、「図の説明」としてまとめて別紙に記す。内容説明は各表題の下に改行して記す。
 - 図・写真の表題を記したものと及び図・写真はそれぞれまとめて原稿末尾に一括して提出する。
 - （1996 年 5 月 17 日，評議員会）

自然科学研究会会員 (50音順)

令和5年度 (2023)

正会員

太田 和徳 (会長)

岡田 朋子

岸上 明生

郡 麻里

柴田 良一

下村 尚司

末岡 仁

光松佐和子

名古屋経済大学 自然科学研究会会誌

令和6年3月8日発行

編集・発行 名古屋経済大学
自然科学研究会
〒484-8504 愛知県犬山市内久保61
TEL (0568) 67-0511・0616

印刷 株式会社 一 蔵 社

JOURNAL OF THE NATURAL SCIENTIFIC SOCIETY
OF NAGOYA KEIZAI UNIVERSITY

— Vol. 51

No. 1 —

2 0 2 4

Original Articles

- Yuriko YAMAOKA, Akio KISHIGAMI 1
A proposal to a development of a training method for
nutritional guidance education based on the mirror neuron concept
- Mari KOHRI..... 17
Notes on the conservation of the threatened *Pyrus calleyana*
in the Tokai region, Japan: How to properly protect
an endangered species

Published by

NAGOYA KEIZAI UNIVERSITY

Uchikubo, Inuyama 484-8504, Aichi, Japan.